

セリ、而シテ其ノ結果ハ未ダ充分ナルモノニ非レドモ大體品質改良ニ關スル事項中、保存後ニ生ズル肉割レ及ビ節肌ノ惡變スルコトハ焙乾操作ノ注意及ビ適當ナル微付ニ依リテ相當防止シ得ベク、又原料冷藏庫利用ニ依ル試驗ニ於テハ作業能率ノ研究ニ依リテ相當勞力ノ節約ヲナシ得ベキヲ認メタリ、但シ冷藏原料ニ依ル製品ハ其品質不成績ナル結果トナレリ、今其大要ヲ記シテ今後ノ研究竝ニ當業者ノ參考ニ資セントス。

二、試驗施行ノ期間竝ニ場所

自昭和三年四月二十一日 至同年九月三十一日間本場内

三、經過

原料ハ總テ本場指導船圖南丸ノ漁獲物ヲ使用シ陸揚後一部ハ直チニ製造ニ附シ他ハ本場冷藏庫内ニ冷藏シ置キ時々出庫シテ製造セリ。

製品ニ就テハ其保存中ニ於ケル狀況ヲ觀察シ縣水産會主催東京鯉節即賣品評會、高津商店、沖繩縣物産販賣大阪幹旋所其他ニ於テ試賣セリ。

原料左ノ如シ

陸揚月日	魚種	尾數	數量
四月二十八日	大 鯉	七一〇尾	五、七〇一斤
"	中 鯉	八〇尾	四、二三斤
"	小 鯉	一六三尾	五、六八斤
五月九日	大 鯉	一、三二七尾	一〇、七一五斤

六月十二日

中 鯉

七尾

五〇斤

〃

小 鯉

八八五尾

二、六九九斤

六月十七日

小 鯉

三六〇尾

一、〇四二斤

六月二十六日

小 鯉

一七〇尾

五八五斤

七月一日

大 鯉

四八三尾

四、二九六斤五

〃

小 鯉

一七七尾

五九一斤五

八月十三日

中 鯉

九九五尾

五、九一一斤五

〃

小 鯉

一一四尾

一三二斤五

計 陸揚回数七回

五、四七一尾

三三、七一五斤五

右ノ製品左ノ如シ

鯉 本 節

六九六貫二五〇匁

鯉 龜 節

一七二貫八八〇匁

計

八六九貫一三〇匁

右賣上價格 七千貳百拾參圓壹錢

●各地試賣成績(左ノ如シ)

金八百五拾圓五拾壹錢也

龜 節

一〇〇貫

東京高津商店

金參千八百四圓拾錢也

本 節

四五〇貫

東京即賣品評會

金四百壹圓八拾參錢也	本節	三〇貫	東京即賣品評會
金參百參拾圓七拾九錢也	"	四〇貫	大阪鞆旋所送北伊商店
金六拾九圓拾參錢也	龜節	一〇貫	同上
金貳百參拾壹圓五拾錢也	本節	三〇貫	京都鹽干魚會社
金七拾五圓也	龜節	一〇貫	八木橋 豐
金貳百六拾五圓六錢貳厘也	"	四〇貫	高津 商店
金壹千百七圓參拾參錢八厘也	本節	一三〇貫	同上
金五拾七圓八拾參錢也	"	六貫二五〇匁	本場ニテ試賣
金拾九圓九拾貳錢也	龜節	二貫八八〇匁	同上
試賣 中	本節	一〇貫	津島商會送
同上	龜節	一〇貫	同上

即賣品評會ニ於テハ一點一等賞トナリ十貫當リ相場金百七十圓ニテ賣却セラレタルモ本年ハ一般ニ鱈節相場暴落セシ
爲メ價格低廉ナルヲ免レズ、尙ホ昭和四年一月迄保存シ其變化ヲ觀察シタル後大阪物産鞆旋所ヲシテ試賣セシメタルモ
ノハ其形狀土佐型ニ非ザルト乾燥シ過ギタリトノ理由ヲ以テ不評ナリキ、蓋シ形狀ノ如何ハ取扱フ商人ニ依リテ見解異
ナルベク亦乾燥過度ナリト稱スルハ、本縣産鱈節方裸節ニテ出荷セラレ乾燥スルニ從ヒ惡變スルヲ以テ、一般ニ本縣鱈
節ハ乾燥充分ナラシメザルヲ得策トスルト云フガ如キ、極メテ概括的批評ナリト看做スベキナリ、蓋シ本場ニ於テハ本
縣鱈節方乾燥スルトキハ惡結果ヲ來スニ因リ此ノ缺點ヲ改良シ本枯トスルモ差支ナキ製品ヲ得ル目的ヲ以テ試驗セルニ

外ナラス、之等試賣品ハ凡テ比較的長ク保存シタルモ乾燥後ニ起ル本縣鯉節特有ノ缺點タル肉割レ及筋肌ノ惡變セルヲ認メズ亦試賣品ニ對シテハ事實其ノ缺點アルコトヲ指摘セルモノモナカリキ。

(イ) 品質改良ニ關スル試驗

本縣產鯉節ニ於テ最モ重大ナル缺點ニシテ加之多ク起リ易キ左ノ缺點即チ製品ヲ相當長ク保存シ乾燥スルニ從ツテ生ズル缺點ニ對シ其防止方法ヲ講ゼントス。

- (1) 節内部ニ肉割ヲ生ズルモノ多キコト
- (2) 節肌ノ肉質粗雜トナリテ惡變シ易キコト (即風化シ易キコト)

原因ニ關スル考察

如斯缺點方特ニ本縣產鯉節ニ多キ原因ニ就テ考察シ更ニ其防止方法ヲ講ゼントス。

保存乾燥後節内部ニ起ル肉割ノ狀況ヲ觀察スルニ肉割ノ起ル部分ハ一定セズト雖、大體節ノ最モ太キ部分即中央部若シクハ稍々頭部ニ近キ部分ニシテ筋肉片ト筋肉片トヲ結合セル薄膜狀ノ結締組織ノ部ニ於テ數層ノ圓錐面狀ニ肉割ヲ生ズル者ト、特ニ結締組織ノ部ニ於テ起ルニ非ズシテ各筋肉片ヲ通ジテ節ノ長軸ニ副ヒ縱溝ヲ生ズルトアリ何レノ場合モ表面ニ裂溝ヲ現ハサズ前者ニ在リテハ僅カニ「」ノ字型、後者ニ在テハ直線狀ノ凹面ヲ呈スルヲ見ル、筋肉ヲ繋グ結締組織ニハ膠様トナル物質多シ故ニ原料ノ鮮度低下煮熟等ニ依リテ此部ノ結著力極メテ薄弱トナリ乾燥ニ依リテ相當乾固密著スル以前ニ節内部ニ不均整ナル收縮ヲ來ス時ハコノ部分ニ僅ナル間隙ヲ生ジ、乾燥進ムニ從ツテ此間隙増大シ圓錐面狀ノ肉割レヲ生ズルモノト考ヘ得ベシ、而シテ不均整ナル收縮ノ起ル方向ノ如何ニ依リ又ハ結締組織ノ膠様物質ニ化セル成分方相當乾固密著シテ強キ結著力ヲ有スルニ到リタル後不均整ナル收縮ヲ生ジタル時ハ、筋肉纖維束ニ平行